

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野（砂防）

平成26年度採択テーマ

事後評価結果

| 研究テーマ名 | 研究代表者 | 評価 |
|---|----------------|----|
| 効果的な防災計画と関連させるべき科学的知見および地域文化の再発見・発信とこれらを踏まえた砂防総合対策技術の開発 (研究期間：H26年～H28年) | 名古屋大学 田中 隆文 | A |
| <p><研究概要></p> <p>ハザードマップが避難に結びつかない事例や、人口減少に伴い自助共助に対する住民の意識の薄れが進行している。この問題を解決するために、非日常現象の災害と日常生活の関連を指摘することにより、地域の地勢学的特性や土地利用履歴・災害履歴などの科学的な知見を再発見し再構築を図るとともに、地域行事などと連携した防災啓発周知手法の開発を目的とする。</p> | | |
| <p><事後評価コメント></p> <p>本研究は、断片的な科学的知見の重ね合わせ手法や、地域文化の再認識や土砂災害に特化した防災情報の発信手法の検討により、地域特性を加味した具体的な砂防総合対策手法を提示しており、地域と連携した効果的な砂防のソフト対策が図られることにより、土砂災害に対する地域防災計画の改善や住民の防災意識の向上が期待できる。</p> <p>今後は、効率的な過去の災害事例の収集方法や本研究の結果明らかとなった課題をスムーズに解決する方法の検討を進めて頂きたい。</p> | | |

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C：一定の研究成果があった
- D：研究成果があったとは言い難い